



はまだ 市議会だより

Vol.15

2009年(平成21年)8月1日号

浜田市民歌
呼びかける風に

五十川式部 作詞
小六禮次郎 作曲

一 広がる空を 共に仰げば
歌はふれる 緑の大地

手をのべ 呼びかける
さわやかな風に 花はほほえみ
あたらしい風に 歩め明日へ

浜田 わがまち 地球といきるまち

眩しい海に 汽笛高鳴り
希望はばたく 魚は躍る
手をのべ 呼びかける
はれやかな風に 心ひらいて

浜田 わがまち 箕顔つどうまち
連なる山に 森に流れに
恵み豊かな 優しい故郷
手をのべ 呼びかける
ふくよかな風に 人よ輝き

浜田 わがまち 地球といきるまち
あたらしい風に 歩め明日へ
文化があるまち



浜田の四季景観100選から「海遊び」 上野由美恵氏 撮影

平成21年5月臨時議会・6月定例議会

議会のあらまし	P2
議案質疑	P3
こんな事業・条例を可決しました	P4
個人一般質問	P6

平成21年

五月臨時議会・六月定例議会

平成21年5月浜田市議会臨時会は5月11日に招集され、一日間開かれました。臨時会は、浜田市単独事業の浜田元気創出アクション・プラン事業や国の補助金を活用するふるさと雇用再生特別基金事業の追加など、雇用創出のための補正予算の提出がありました。市長から提出された補正予算1件、専決処分の承認1件について、審査の結果、原案のとおり可決、承認をしました。

平成21年6月浜田市議会定例会は6月4日に招集され、6月22日までの19日間の会期で開かれました。市長から提出された条例関係12件、補正予算1件、その他2件、専決処分の承認1件、人事案件3件の案件について審査を行いました。議会側からは、請願2件、意見書1件を提出しました。これらについて審査を行った結果、原案のとおり可決、承認、同意をしました。

本会議等で審議された 主な議案の内容

○五月臨時議会 (予算関係)

▼ 平成21年度、浜田市一般
市内の中小企業者、新規創業者等の積極的な事業活動を支援する事業や雇用創出を目的としたふるさと農業研修生育成事業、漁業雇用促進緊急対策事業及び原木しいたけ産業の育成と里山再生事業等に伴う調整を行うもので、歳入歳出それぞれ2億4446万2千円を増額するものです。

▼ 平成21年度、浜田市一般
(予算関係)

補正の主な理由は、国の追加経済対策において追加や変更を要する事業として、有害鳥獣被害防止対策事業や水産プラ

ンド推進事業等の16事業、緊急雇用創出事業の追加として、リ・リース基盤整備事業等の5事業、その他新たに生じた経費等について調整を行うものです。

歳入歳出それぞれ11億918万3千円を増額するものです。

(条例関係)

▼ 浜田市附屬機関設置条例の一部を改正する条例について

国土利用計画に関する調査審議をするため、新たな附屬機関として浜田市国土利用計画審議会を設置することに伴い、所要の改正を行うものです。

▼ 浜田駅北駐車場について

車場について、新たに浜田市有料駐車場として位置付けるため、所要の改正を行うものです。

▼ 浜田駅周辺施設条例の制定について

浜田駅周辺のにぎわいづくりと魅力ある地域づくりに資することを目的とする公の施設を、新たに設置することから、当該施設の設置及び管理に関する事項を定めるため条例を制定するものです。

▼ 人権擁護委員候補者の推薦について

浜田准看護学校学生修学資金貸付制度を創設するに当たり、一定の要件を満たす者については貸付金の返還を免除することとするため、所要の改正を行うものです。

▼ 会計補正予算(第2号)

平成21年度、浜田市一般
(予算関係)

浜田准看護学校学生修学資金貸付制度を創設するに当たり、一定の要件を満たす者については貸付金の返還を免除することとするため、所要の改正を行うものです。

▼ 肝炎対策のための基本法の制定を求める意見書

▼ 全国市議会議長会

平成21年5月臨時議会

新たに長期優良住宅建築等計画の認定申請手数料を定めるため、所要の改正を行うものです。

▼ 浜田市有料駐車場条例の一部を改正する条例について

平成21年8月中に供用開始を予定している浜田市駅北駐車場について、新たに浜田市有料駐車場として位置付けるため、所要の改正を行います。

▼ 浜田駅周辺施設条例の制定について

浜田駅周辺のにぎわいづくりと魅力ある地域づくりに資することを目的とする公の施設を、新たに設置することから、当該施設の設置及び管理に関する事項を定めるため条例を制定するものです。

▼ 人権擁護委員候補者の推薦について

浜田准看護学校学生修学資金貸付制度を創設するに当たり、一定の要件を満たす者については貸付金の返還を免除することとするため、所要の改正を行うものです。

▼ 会計補正予算(第2号)

平成21年度、浜田市一般
(予算関係)

浜田准看護学校学生修学資金貸付制度を創設するに当たり、一定の要件を満たす者については貸付金の返還を免除することとするため、所要の改正を行うものです。

0万人以上と推定され、抜本的な対策が求められています。

美浦美樹(弥栄町木都賀)
木村正行(三隅町古市場)
・議員10年以上

渋谷幹雄(長浜町)
三浦一雄(宇野町)
西村健(熱田町)
大谷弘幸(田橋町)

牛尾昭(紺屋町)
・感謝状

○中国市議会議長会
・正副議長3年以上

吉田千昭(三隅町岡見)
島本鎌利(弥栄町長安本郷)
鎌原ヤシヱ(金城町下原)
原田義則(金城町久佐)

・議員8年以上

岡田治夫(金城町波佐)
三隅町井野) = 再任
○竹田聰さん
(金城町小国) = 新任

・議員16年以上

木村正行(三隅町古市場)
牛尾昭(紺屋町)

・議員8年以上

岡田治夫(金城町波佐)
三隅町井野) = 再任
○竹田聰さん
(金城町小国) = 新任

・議員8年以上

吉田千昭(三隅町岡見)
島本鎌利(弥栄町長安本郷)
鎌原ヤシヱ(金城町下原)
原田義則(金城町久佐)

・議員16年以上

・議員8年以上

岡田治夫(金城町波佐)
三隅町井野) = 再任
○竹田聰さん
(金城町小国) = 新任

・議員8年以上

吉田千昭(三隅町岡見)
島本鎌利(弥栄町長安本郷)
鎌原ヤシヱ(金城町下原)
原田義則(金城町久佐)

・議員16年以上

・議員8年以上

こんな事業・条例を可決しました

有害鳥獣被害防止対策事業

事業費 30,000千円

イノシシ、ツキノワグマ、サルなど鳥獣の民家付近への出没による住民の不安感等軽減するために、大規模な防護柵設置等の有害鳥獣被害防止策を推進する。また現行の制度では対応しきれていない広域的な防護対策事業の確立を図る。

浜田市自治会等輸送活動支援事業

事業費 3,730千円

交通空白・不便地域における通院、買い物等の日常生活に支障をきたしている地域住民の福祉向上のために、自治会等が営利を目的としない継続的な輸送活動に対してその事業に必要な車両購入、維持費等を支援する。

対象 羽原自治会（三隅）

脱温暖化による里山再生事業

事業費 10,000千円

広葉樹の被害木や竹材等を炭化し、森林の再生と炭焼き職人の後継者育成、また伐採体験、薪割り体験など交流事業を展開し地域の活性化を図る。ふるさと体験村に薪ストーブの設置、伐採木や間伐材の有効利用による暖房経費の節減を図り、脱温暖化に寄与する。

消費者行政活性化事業

事業費 4,935千円

住民の消費者行政に関する意識を高めだれもが安全で安心して暮らすことのできる社会の実現をめざすため、消費生活センター機能の強化・消費生活相談員等レベルアップ・消費者行政活性化オリジナル教育、啓発事業に取り組むなど、消費生活相談窓口を充実する。

水産ブランド推進事業

事業費 22,000千円

水産ブランド「どんちっち」の知名度向上及び安全安心な水産物の提供を図るために、JFしまね等への支援を実施する。

事業内容 出荷証明システムの構築、広告、出展、DVD作製費等

产地生産拡大プロジェクト支援事業

事業費 300,000千円

農業産出額の増加目標の達成に向けた取り組みを総合的に支援し、产地づくり活動の推進のため、国直接補助事業として事業実施主体のハード整備に要する費用の一部を交付する。

事業対象施設 品質向上物流合理化施設、農産物処理加工施設（精米施設）、集出荷貯蔵施設、生産技術高度化施設

浜田駅周辺街並みデザイン再生事業

事業費 7,251千円

浜田駅北地区の整備、浜田医療センター移転新築に伴い、駅周辺地区の人の往来が期待され、浜田市の玄関口として市民に親しまれるよう街並みデザインを再生し、賑わいを創出する。

県道浜田停車場線歩道上にイルミネーション設置のための電源設置工事。浜田駅前銀天街協同組合の街並みデザイン再生事業（仮称）へのどんちっちタウン看板の塗り替えやアーケードへのイルミネーション設置などへの支援をする。

母子家庭自立支援給付金事業

事業費 4,230千円

就職の際に有利であり、かつ生活の安定に資する資格の取得を促進するため当該資格に係る養成訓練機関等で修学し、対象資格の取得が見込まれる母子家庭の母に対して修学期間の生活費を支給する。

支給期間 就学期間の全期間

月額(例) 前年度市民税課税世帯 70,500円
前年度市民税非課税世帯 141,000円

漁業雇用促進緊急対策事業

事業費 15,498千円

UIターン希望者、失業者等による求職者を新規漁業者として雇用し、漁業技術者の研修を実施する漁業経営体に対し、必要経費を助成する。新たな雇用創出を図る。

研修期間：12ヶ月以内

対象経費：最低賃金相当額、賄い料、船舶所有者負担の保険料等

研修人数：7人（予定）

水産業環境保全支援事業

事業費 2,000千円

浜田漁港、水産加工団地内の環境悪化を防ぐとともに、離職者や失業者等を排水処理技術研修生として受け入れ、研修実施体に対し研修に必要な経費を助成する。

研修期間：34ヶ月以内

県産材を生かした木造住宅づくり支援事業

事業費 15,000千円

県産木材を使った木造住宅の建築促進を図るため構造材に県産木材を一定以上使用した木造住宅の新築・増改築又は購入に対し、1戸につき最大で30万円を助成する。

浜田市イノベティブ・アクション・プラン支援事業

事業費 60,000千円

市内の中小企業、新規創業者に対し事業化を目的とした新製品、新技術の開発、販路開拓など始業の積極的な事業活動を支援し、産業振興、雇用の維持と拡大を図る。

区分：新商品開発、付加価値創出事業、新規参入事業、特許権等取得、販路開拓、など

ふるさと農業研修生育成事業

事業費 26,105千円

市内で新たに農業に従事するため農業研修を希望する者を受け入れ、農業従事者の拡大とUIターン希望者の定住促進を図る。研修受け入れ先を通じて研修生の資金を支援（月146,300円）し、またUIターン者に対して住宅確保支援金として必要な費用の一部（家賃の2分の1、上限2万円）を支援する。

林業推進事業

事業費 3,000千円

荒廃里山森林の整備のため助成を実施し、森林の適正な整備を行い、雇用の確保を図る。事業の単価の増額、限度額の引き上げを行う。森林所有者からの申請により、事業が実施可能となる。

路網整備地域連携モデル事業

事業費 28,000千円

建設事業者の林業への参入促進による、林業の振興と山村地域での雇用機会の創出を目的とし、森林・林業・木材産業づくり交付金を活用し、森林作業道の整備をする。

対象：金城、弥栄

観光客誘致緊急プロジェクト事業

事業費 2,349千円

高速道路料金が低額化された機会をとらえ観光客誘致対策を実施し、観光産業の育成、強化を図り雇用の創出に繋げる。

大阪・神戸方面への観光宣伝強化・マスコミ関係者のモデルツアーや全国情報誌掲載による地名度アップを図る。

ふるさと雇用再生特別基金事業

・原木しいたけ産業の育成と里山再生事業

事業費 20,734千円

優良原木の伐採の担い手を確保し生産者への原木供給体制を整備することで、植菌伏せ込み本数を増加させ、原木しいたけ生産の主産地化を目指す。
事業内容：しいたけ用原木の伐採・搬出、しいたけの栽培（植菌）しいたけ生産者への原木供給、こうぞの栽培。

・体験型産業育成事業

事業費 4,720千円

原料に徹底的にこだわった高品質でおいしい商品づくりを行う。また収穫から加工品づくりまでの宿泊型体験ツアーを実施し、提供、販売を行う。
事業内容：新商品お土産品の開発・販売、体験ツアーの企画・実施、地域食材を使った料理の開発。

・浜田の海を活かした定住促進事業

事業費 7,561千円

UIターン希望者に、海との関わりで生活が成り立つ場を確保するため、海資源を活かした様々な生産活動や体験交流事業などを複合的に組みあわせた海での生活・定住モデルの構築を目指す。そのための相談窓口の設置、研修者の実地指導、特産品の研究開発、販路開拓を行う。

個人一般質問

今議会は、20名の議員が30分の発言時間を使って一般質問を行いました。

お年寄りや障害のある人が暮らす上で、医師や看護師と共にリハビリ医療に従事するセラピストの養成は欠かせない。10年前開校した、専門学校が入学生激減の状況にある。



リハビリ専門学校への支援のあり方について

質問

① 乳がんの受診率は、平成19年度は7・5%・子宮がん6・0%で県平均を下回っている。受診率アップへの取り組みについて伺う。

② 子宮頸がんの検診に出雲市では、細胞診とHPV(ヒトパピローマウイルス)検査の併用を全国に先駆けて導入し、大幅な新規受診者(特に若年層)を増やし、検診率向上と経費削減をされている。当市の今後の取り組みを伺う。

③ 新経済危機対策に、乳がんと子宮頸がんの検診無料クーポン券と、検診手帳の配布が盛り込まれているが、この取り組みについて伺う。

答弁

① 「がん制圧月間」前の8月29日に乳がんの早期発見と予防について講演する。

② 休日検診や施設検診でHPV検査を希望者に導入する。

③ 受診率の向上を目指す。



女性特有の がん対策について

質問

① 資産割の廃止で、今年から国保料が実質的に安くなる市民は、どの程度いるのか。

② 毎年4千万円の滞納が時効で処理されているのに、つい億円の滞納が減らないのは、払おうにも払えないほど、近田市の国保料が高いからだ。21億円の基金を使って国保料を値下げすべきだ。

③ この経済危機の状況では、資格証を廃止し、短期保険証を発行すべきではないか。

④ 無保険の高校生に明日にでも短期保険証を渡すべきだ。

答弁

① 58%が値下げとなる。

② 非課税世帯でも、国保料は徴収されるので、市民の「悲鳴」は理解している。現在、先進自治体を調査し、減免の方法を検討中である。

③ 市役所の担当窓口で相談を受け、対応したい。

④ すみやかに、取り組む。



国民健康保険料の所得の 捉え方と値下げについて

① 確実な雇用創出が図れるよう、徹底した経年雇用の可能な事業プランの推進、及び早めの検証・対策強化を図るべきと考えるが如何か。

② 矯正施設、医療センターなど浜田市での大型建設事業では、市民が期待する地元建設業会への請負はほとんど皆無であった。市の考え方を問つ、

答弁

① 経年雇用可能な事業プラン作成を第一目標にしており、引き続き国の交付金等の利活用を視野に、スピード感を持つて各事業の検証・対策を実施し、確実な雇用創出となるよう対策強化を図りたい。

② 浜田市発注の建設事業は、請負者に市内業者の使用を明記しているが、国などの発注事業には、同様のお願いはしているものの成果は上がっていない。今後も市内業者請負推進に向け、一層の努力を図る。



確実な雇用創出及び 地元企業の支援施策について

一般質問

市職員の健康管理について



三浦一雄

① 精神衛生（精神疾患）面での配慮は、慎重かつ適切な対応が求められる。職員の志氣・症状（体調）に、異変を感じられた場合の対応策について伺う。

② 精神疾患（うつ病）で、悩まっている職員に対するケア・サポート等について、管理職の認識・対応策について実施状況を伺う。

答弁

① 職員の安全衛生教育を実施しており、健康確保が必要と認めれば産業医等の意見を基に、通知している。

② 勤務の可能な場合は、病状等を勘案し、業務内容を調整して対応している。自宅療養の場合は、メンタルヘルス検討会議を開催し、相談体制や指導・個別面談により回復状況を把握した上で、段階的な職場復帰訓練の実施等について検討し対応している。

これからの定住促進対策及び自治区制度について



西田清久

① 雇用対策として、産業経済部のアクションプランの現状分析を問う。

② 定住促進に係る、組織・機構改革について問う。

③ 地域資源の利活用についての現状認識を問う。

答弁

① 「農林業支援センター」や「はまだ産業振興機構」の設置や各団体の連携強化を図り、商品開発から販路拡大への取り組みに努めている。

② 昨年立ち上げた『定住対策プロジェクトチーム』を今年は副市長をトップとした「U-ターン推進委員会」に再編し、就労対策、住居対策に取り組むこととしている。

③ 果実酒特区や石州半紙のユネスコ無形文化遺産リストへの登録予定など市の魅力を全国に発信するチャンスと考えている。

教育行政について



佐々木豊治

① 小・中一貫教育について美川小学校と第四中学校でモデル的に導入し、市民の理解を深めてもらうべきではないかと思うが、考え方と導入時期について伺う。

② 55億円財源計画の中の学校給食センターの統廃合について、弥栄での廃止計画においては、すでに地元では廃止反対の声が大きくなっている。市をあげての早急な、そして慎重な対応が求められていると思うが所見を伺う。

答弁

① 美川小学校と第四中学校はモデル校として最適であり、条件が整い次第、数年後には取り組みたい。

② 大変重要な問題と認識しており、地元の合意形成が何より必要であるので、今後理解を求めていきたい。

学校給食センターの今後の方向性について



西村健

学校給食法の改正により、給食の目的が食育の推進に変わり、栄養教諭の役割が強化された。給食センターの統合計画は、法改正の趣旨に逆行するのではないか。

答弁

逆行するものではなく、地産地消についても、自治区内に限りなく、できるだけ多くの意見を伺っていく。

から市全体へと発展する理解が必要と考えている。

合併協議の確認事項でもある給食費統一について現在、検討されていると思うが、統一は、必ずしも保護者の望みではないのではないか。「センター統合ありき」ではなく、保護者や関係者の意見をもつと聞くべきではないか。

答弁

今後、統合の方針を説明していく中で、できるだけ多くの意見を伺っていく。



浜田の四季景観100選から「山陰線折居付近 折居町」
鯖川義英氏 撮影

新市の行政運営と
まちづくりの評価について



山田 義喜

宇津市長は、新市の初代市長として重責を担われ、これまで行政運営とまちづくりにその手腕を発揮してこられたが、どのように自己評価されるのか伺う。

答
弁

市民の立場に立った優しく温かい市政運営を進めてきた。合併後も周辺地域が寂れるとのないよう、旧那賀郡4町村の良さと旧浜田市の良さを引き出し、その相乗効果を發揮させ融和させることによる、より住み良いまちづくりを目指して来た。

浜田医療センターの移転新築など、主要事業は予定どおり推進することができた。

新市の初代市長としての評価は、合併10年後の浜田市の姿によつてなされると思う。

その他の質問
定住自立構構想について

協働のまちづくりについて



平石 誠

教育面における協働の実態について問う。
② 中学校部活動に民間活力を積極的に取り入れ、教員の負担軽減を図り、生徒の学力向上に繋げることについて問う。

① 教育面以外での協働の実態について問う。
④ 人材や会社の能力をデータベース化し、活用することについて問う。

答
弁

① ふるさと教育等教育事業の他に、安全パトロール等でお世話になっている。

② 現在2名の方にお世話になつてきている。今後さらに充実させていく。

② 今年4月に副市長をツップとした「定住対策プロジェクトチーム」から「Uターン推進委員会」に再編し、喫緊の施策課題としている。

④ システムの構築は有益であるが、個人情報保護も考慮し、先進事例を研究したい。

急激な人口減少に対する
中長期計画について



岡田 治夫

① 浜田市次世代育成支援後期計画策定における基本姿勢を問う。

② 少子化対策、Uターン対策の計画策定について問う。

答
弁

① 今年度は前期計画の最終年度であり、進捗状況の評価を行い、後期行動計画を策定する。「子供が笑顔いっぱい暮らせるまち」を基本理念として、一層次世代育成を支援していく。

② 合併以来4年、自治区制度について

自治区制度の
検証について



新田 勝己

① 合併とは、住民の身近から「意志決定権」と「財政権」がなくなり、住民の心の中で「依存心」が強まり「自立心」が後退する。自治区制度が果たした役割と影響を問う。

② 地域の声が届きにくくなつた。地域協議会の役割を問う。

その他の質問
定住自立構構想について

① 市の農業の将来像について
② 新型インフルエンザへの対応策について



浜田の四季景観100選から「浜っ子夏の思い出 港町」
村上昌吾氏 撮影

自治基本条例の 制定について



江角敏和



浜田の四季景観100選から
「豊漁 原井町（浜田漁港）」
松谷敏秀氏 撮影

- ① 「自治基本条例」に対する市長の認識を伺う。
② 自治区制度の検証から将来のまちづくりに向けた『自治基本条例』制定の考え方を伺う。
③ 検討の開始時期と目指す制定時期を伺う。

答弁

- ③ 自治区制度の検証と分析が終われば具体的な検討に入りたいが、制定時期はこれから様々な検討が必要であるたら様な検討が必要であるため明らかにできない。

その他の質問

市民生活の現状と各種減免・軽減策について

まちづくりを推進する手段として基本条例も必要であり、時間をかけ必要性や意義を十分に認識しなければならない。② 自治区制度の検証と自治基本条例の必要性を結びつけるよう今後の検討課題としていきたい。

- ① 現在厳しい経済情勢の中、突如リストラや減給対象者にされた市民の方々の中には、経済的理由により子供達の進学を断念せざるを得ない方もいると聞く。このような市民のためにも全市を対象とした奨学金制度の充実が求められているが所見を聞きたい。
- ② 学校環境向上、健康増進の観点から全国的に校庭の芝生化が進んでいる。当市も周布小学校でモデル事業を行うが今後の課題は何か聞きたい。

答弁

- ① 現在奨学金制度の見直しを行っているが、緊急時にも対応でき卒業後の償還も負担が少なくなるような制度をつくっていきたい。
- ② 大きな課題は維持管理経費と労力である。学校、地域PTAの協同で取り組みたいと考える。その後問題点を検証し今後の展開に役立てたい。

次代を担う子供達に 係わる諸課題について



川神裕司

- ① 現在厳しい経済情勢の中、突如リストラや減給対象者にされた市民の方々の中には、経済的理由により子供達の進学を断念せざるを得ない方もいると聞く。このような市民のためにも全市を対象とした奨学金制度の充実が求められているが所見を聞きたい。
- ② 学校環境向上、健康増進の観点から全国的に校庭の芝生化が進んでいる。当市も周布小学校でモデル事業を行うが今後の課題は何か聞きたい。

答弁

- ① 現在奨学金制度の見直しを行っているが、緊急時にも対応でき卒業後の償還も負担が少くなるような制度をつくっていきたい。
- ② 大きな課題は維持管理経費と労力である。学校、地域PTAの協同で取り組みたいと考える。その後問題点を検証し今後の展開に役立てたい。

三隅発電所の2号機の建設と 稚貝の放流事業について



吉田千昭

- ① 発電所2号機の進捗と市の取組について尋ねる。
- 現在、平成26年着工、平成29年運転開始の計画となつている。石炭ガス化複合発電方式で、信頼性、経済性、耐久性を検証し、試験は順調である。

答弁

- ① 現在2号機建設のプロジェクトチームは、設置されているのか。県下全域で稚貝の放流事業が実施されているが、市の21年度事業を廃止した理由について伺う。
- 事業主体である「JFしまね浜田支所」からの申出によりアワビ稚貝放流事業を中止した。

消防法施行令の改正に伴う 施設整備について



三浦保法

- 自宅での避難が困難な高齢者が多数入所する介護施設等で火災が発生し、多数の犠牲者が出了。国においては消防用設備等の強化や防火管理体制の見直しが行われ、本年4月にスプリンクラー等の設置を義務付ける消防法施行令の改正が実施された。

答弁

- 浜田市が運営する施設は特別養護老人ホームのあさひ園やミレ岡見、及び養護老人ホームの長寿苑の3施設があり、平成24年3月末までにスプリンクラー設置義務の対象となつた。また、市内の民営福祉施設でも16施設が未設置で、設置義務の対象となっている。今後、スプリンクラー等の施設整備については市としても重要な問題として取り上げ、検討していく。

市の基幹産業である
水産業の振興について



山崎 晃
やまざきあきら

質問

水揚げのある一本釣り漁業従事者数と平均年齢を問う。また、平成20年度の漁獲量はいくらで、JFしまね浜田の何%に相当するのかを問う。

答弁

①水揚げされた漁業者252人 ②平均年齢66才 ③漁獲量319トン ④漁獲高2億7千万円 ⑤全体の漁獲高69億5千万円の約4%である。

質問

沖合底引き網漁業が危機的状況になった場合、リース制度の利活用について問う。

答弁

市では、平成17年に漁協が事業主体となり取り組んだが、リース経費を負担していくことが、難しいと判断され取りやめた経緯がある。今後も引き続き、漁業関係者、漁協、地域の関係者と危機感を共有して、代船取得に向けて検討を続けていきたい。

その他の質問
自然エネルギー活用について

地域農業の
振興について



大谷 弘幸
おおたにひろゆき

質問

①現状認識と振興への推進体制について問う。
②第2次農業振興計画の検証と次期計画作成を問う。
③中山間地域等直接支払制度について問う。

答弁

①水稻中心の經營形態が大半を占め、經營状況は非常に厳しい現状にあり、支援センターを中心とした推進とともに更なる振興支援に努める。

質問

冲合底引き網漁業が危機的状況になった場合、リース制度の利活用について問う。

答弁

市では、平成17年に漁協が事業主体となり取り組んだが、リース経費を負担していくことが、難しいと判断され取りやめた経緯がある。今後も引き続き、漁業関係者、漁協、地域の関係者と危機感を共有して、代船取得に向けて検討を続けていきたい。



周布小学校に設置されている
黄長石霞石玄武岩

黄長石霞石玄武岩
について



高原好人
たかはらよしと

質問

市民の認識度を高めるための対応について問う。

答弁

今までに市ホームページの掲載や黄長石霞石玄武岩研究会との現地説明会や講演会などを開催してきた。今回、浜田郷土資料館において今年の9月23日まで石見畳ヶ浦と天然記念物の黄長石霞石玄武岩の展示会を開催している。開催中は島根県地学会会長の桑田龍三先生に解説をお願いしている。多くの市民が参加される事を期待する。

質問

沖合底引き網漁業が危機的状況になった場合、リース制度の利活用について問う。

答弁

市では、平成17年に漁協が事業主体となり取り組んだが、リース経費を負担していくことが、難しいと判断され取りやめた経緯がある。今後も引き続き、漁業関係者、漁協、地域の関係者と危機感を共有して、代船取得に向けて検討を続けていきたい。

現場の実状を踏まえた
行政運営を



美浦美樹
みうらよしき

質問

①予約型乗合タクシーの運行について、弥栄地区では利用者から福祉タクシーの時より利便性が悪くなつたとの声を聞く。改善の方途はないか。
②物件費等55億円財源計画の中では、弥栄給食センター廃止を計画されているが、地元学校関係者、PTAは大変驚いている。

答弁

机上の計画を説明もなく、押し進めようとする姿勢は遺憾に思う。その経緯を問う。

①概に福祉タクシーと比較できないが、利用者が少なく費用対効果が薄ければ当然と考える。

質問

③本制度は、集落活動の維持に有効であり、制度の継続と小規模集落等に対する条件緩和を要請しており、本年秋頃に新制度提示の見通しだ。

答弁

②給食センター再編については、合併協定・行財政改革55億円財源計画を踏まえ効率的経済的に運営するため実施

議会広報広聴調査特別委員会
委員長 渋谷 幹雄
委員 原田 三浦 田村 山崎 新田 平石 佐々木 豊治
委員 哀原 勝己 誠義 则一 雄 友行 晃

あ
と
が
き

『人間失格』『ヴィヨンの妻』の作家太宰治に、「葉桜と魔笛」という「島根県の日本海沿いの城下町」浜田が舞台の作品があります。太宰は一人称、三人称、書簡、日記、語り、独語、説話、寓話など多様な表現形式を駆使した人ですが、漱石が知識的な女性を描くの得意としていたように、可愛らしい女性を描いて日本で太宰の右に出る作家はありません。この佳品も、切ない読後感を与えてくれます。

人の寿命はわずか百年であつても、文化は永遠です。この、文化の拠点となるべき新しい図書館の建設が待ち望まれて、一体どのくらいの歳月を、私たちは浪費してきたことであります。
今回が、このメンバーでの最後の議会だよりです。
二年間のご愛読、誠にありがとうございました。